Rotary Rotary International District 2500

2021.6.24（木）
第33回例会
（通算3627回）

2020-2021年度
釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『Together! 次世代へ共に築こうロータリー！』

2020-2021 年度
国際ロータリーテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 年度
RI 会長 ホルガー・クナーク

第 2500 地区ガバナー
松田 英郎（富良野 RC）

第84代会長　舟木　博
副　会　長　土橋　賢一
幹　　事　荒井　剛
編集責任者　クラブ会報雑誌委員会

例会日　毎週木曜日 12:30 ～ 13:30　夜間例会 18:00
例会場　釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局　釧路市錦町 5-3 三ッ輪ビル 2F
0154-24-0860　FAX 0154-24-0411

月間テーマ	ロータリー親睦活動月間
本日のプログラム	「一年を振り返って」（担当：理事会）
次週例会	「ガバナー補佐及び各クラブ会長・幹事表敬訪問」（担当：理事会）

■ロータリーソング：「君が代」「奉仕の理想」　■ソングリーダー：後藤　公貴君
■会員数　97 名
■ビジター　なし
■ゲスト　なし

■本日のプログラム■
一年を振り返って

幹事報告兼挨拶　荒井　剛幹事

皆さん、ご無沙汰しております。ようやくといいますか、もう最後になってしまいますが例会を再開することができました。最後の幹事報告をさせていただきます。

まず、6 月のロータリーレートですが、109 円となっております。

続きまして、お席の横に紙袋が置いてありますが、これはこちらのホテルで準備をしていただきましたお持ち帰り用の『東北海道の素材にこだわった中華・洋食の冷凍グルメセット』となっております。今晩、そのまま解凍をして食べていただくことも可能ですし、明日以降お召し上がりになるのであれば、一度冷凍をしていただければ「まだまだ日持ちする」と聞いておりますのでよろしくお願いします。

また、その紙袋の中に『ふらのワイン』が入っています。これは本来、富良野で「地区大会」に皆さんで参加する予定だったのですが、富良野のガバナー事務所から「各会員に」と、ふらのワインが送られて来ましたので合わせて紙袋へ入れさせていただきました。

また、今年度最後ということもありまして、「ロータリーの友」の他にいろいろ資料がキャビネットに入っておりました物を封筒に入れてお渡ししましたのでお持ち帰りいただければと思います。その封筒には今年の２月にお亡くなりになられました『五明さんの追悼冊子』が入っておりますので、五明さんを思い出していただきながら読んでいただければと思います。あと２点、理事会で承認された内容について報告をさせていただきます。

１点目、釧路ロータリークラブから吉田潤司ガバナー事務所に合計 570 万円が協力資金として支出されていましたが、釧路ロータリークラブ資金決算書が当クラブ理事会で承認されまして、最終的には 486 万 2,237 円が当クラブに戻って参りましたことをご報告申し上げます。

もう１点です。これは、2016 年８月 16 日に締結した釧路ロータリークラブと台北中央ロータリークラブとの姉妹クラブの締結に関することです。ちょうどこの８月で５年を迎えることになりまして、今般，理事会の承認を戴き，「更新する」運びになりました。本来であれば台湾へ行って調印式を行うことが望ましかったわけですが、それができない関係もありまして、いまのところ，次年度の８月５日の昼例会にて台湾とズームをつないだ形で調印式をと考えておりますが，ひとつ問題があります。現在，台湾ではコロナウイル

スの関係で例会自体が開けていないと聞いております。このまま台北の状況が改善しない場合には、８月に予定しているズーム例会もできなくなるかもしれないことを予めお伝えさせていただきます。
以上が、幹事報告でございます。
引き続き１年間、幹事をさせていただきましたので、一言だけご挨拶を申し上げたいと思います。
　本当に、あっという間の１年だったと思います。本来であれば、６月上旬に台北で『国際大会』が行われていたはずです。そちらに大勢の方と一緒に行って、台北中央ロータリークラブとの懇親を深めることができたはずだったのですが、これも残念ながらコロナの関係で中止となっておりました。
本当にコロナ対応に追われた１年だったと思っております。例会のあり方などにつきまして、会員の皆さま全員に喜んでいただける内容にはできなかったと思っております。申し訳ない気持ちです。
それでもこの最後の例会、おそらく今年一番多く参加をしていただいていると思うのですが、これだけ多くの方に出席をしていただけることが何よりも嬉しいです。昨年の幹事だった松井さんが、最後の挨拶で「とにかく会員の方が多く出席をしていただけることが何よりも嬉しいです」と言っていたことを、いま本当に私が実感しているところでございます。
こんな１年間ではありましたが、私自身、海賊の衣装やアライグマと書かれたプレートを首からかけて熊の着ぐるみを着たことが楽しい思い出です。
　最後に、本当は「三役３人でブータンの民族衣装を着て終わろう」と話をしていましたが、これは別の機会にしたいと思います。１年間、大変ありがとうございました。

土橋　賢一副会長

　皆さん、こんにちは。お久しぶりです。
正直、今日という日が来てホッとしております。『１年間を振り返って』ということですので、少しお話をさせていただきたいと思います。
　昨年 12 月の『クリスマス家族会』までは、何とかやれておりましたけれどもその後、２カ月に亘って例会がストップしまして、２月 18 日に再開しました。１月でしたか２月でしたか、舟木会長の病気が発覚して２月 15 日に手術をしたわけですけれども、これは大変なことになったと、まず思いました。そうしたら２月 26 日に今度は五明さんがお亡くなりになって、今年は何という年かと思いました。その上コロナですから、これはどうしたものかと思って。
舟木さんの手術も、そんなにすぐには復帰できないのではないかと思っていたものですから。ロータリークラブの会長というものは、１年半も前から皆さんに承認をしていただき、１年半かけていろいろなことを考えて、覚悟を持って、仕事のスケジュールも組み直して、それぐらい重く行っていると僕は思っていました。出張で、１回２回交代でここに立つことはありだとしても、長期間に亘ってここに立っていて良いのかとずっと思って、立たせていただきました。
釧路ロータリークラブ 80 年以上の長きに亘って、多分今回のことは初めてだったと思います。もちろんこのようなことがもう二度となければ一番良いのですけれども。その時思ったことは、私みたいに覚悟のない人間がこの場に立って話をするよりも、挨拶だけが例会ではないですけれども、会長を経験されている方がたくさんいらっしゃいますので、少しでも皆さんに良い話を聞いてもらう機会を作るためにも、元会長たちにお話をしていただきたいと思ったこともありました。これは、元会長たちから言う話でもないと思います。かといって、現役の会長は「来週こそは」「来週こそは」と思って病気と闘っていたわけですから、現役の会長からもそのような話は多分ないだろうと。そんな思いの中で、３カ月間ここに立たせてもらっておりましたから、やっぱり苦しくなって、話も「来週こそは出てもらえるか」という思いがありましたから、前もって話を用意することも違うと思いましたので、前日か、もしくは当日、何を話そうかと考えていました。ただ、覚悟のない人間ですから、報告事項の先には行かない挨拶なのです。そういうこともありますから、もし良かったらと言ったら変ですけれども、パスト会長たちのコンセンサスがとれるのであれば、この先、もし何かがあった時に「そんな話があった」ということを少し考えていただければありがたいと思います。
　何はともあれ、１年間何もできませんでしたが、皆さんのご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。１年間ありがとうございました。

司会
　ここで、１年間、お世話になった釧路センチュリーキャッスルホテルさんへ記念品をご贈呈したいと思います。舟木会長、ご登壇ください。

（釧路ロータリークラブから釧路センチュリーキャッスルホテル様へ記念品贈呈）

司会
　続きまして、事務局員の青島さんへ花束を贈呈したいと思います。青島さん、ご登壇ください。

（釧路ロータリークラブから事務局員青島さんへ花束贈呈）

釧路ロータリークラブ 事務局員　青島さん

　貴重な時間をいただきありがとうございます。
皆さんコロナ禍の中、お仕事の都合もあったと思いますが、１年間いろいろとお世話になりましてありがとうございました。最後の例会で、舟木会長のお顔を拝見することができて大変嬉しく思っております。
本日は、短い時間で拙い挨拶となりまして申し訳ありません。が、これからもどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

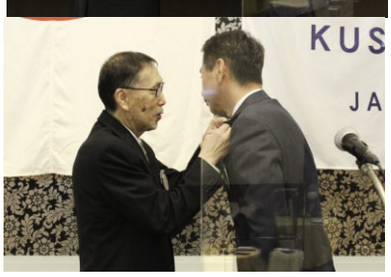
舟木　　博会長

　皆さん、こんにちは。こんなにたくさんのメンバーにお会いできて、本当に今日は晴れ晴れしい気持ちです。本当に皆さんコロナ禍の中、出席をいただきありがとうございました。
　実は、泉先生をはじめ、もう泉先生自身も大変な状態の中で何回もお見舞いに来ていただいたりして、そしてまた温かい言葉をいただき、そしてまたたくさんの皆さまからお見舞いをいただき、本当にありがとうございました。この場を借りてお礼を申し上げます。
　まずもって、今年のことですけれども、2020－2021 年年度の釧路ロータリークラブの事業計画が思うように成し遂げられずに終わりを迎えたことに深くお詫び申し上げます。
また私の不摂生のために、会長としての責務を全うすることができず、副会長・幹事・副幹事・理事の皆さま、そして会員の皆さまに大変なご迷惑をおかけしたことを重ねてお詫び申し上げます。
　本年度は、私にとってコロナで始まりコロナで終わった１年間でした。
特にロータリー活動では、台北の世界大会に 30 名規模での参加を予定していて、それを一番楽しみにしておりました。そして予定をしていた多くの素晴らしい例会や事業ができずに、大変残念な気持ちでいっぱいの１年でもあります。
また当初は、56 年ぶりの『東京オリンピック』という大きな国家事業を楽しむことができると思っておりました。この大会は、昨年から今年にかけて大変大きな障害を抱えて、これからまさに行われようとしております。コロナ禍の中で、これが何のためのものなのか。国民は果たして心から賛成をしているのか。私が中学１年生の時に経験をした、昭和 39 年に経験をしたオリンピックは、全国の国民の老若男女がともに感動と興奮の時間を満喫したオリンピックでした。
これに比べると、今回のオリンピックはなんとつまらない大会なのだろうと感じているのは私だけでしょうか。当時のマスコミが毎日のように「オリンピックまであと何日」「あと何日」とオリンピックは本当に盛り上がったものでした。いま考えても本当に素晴らしいオリンピックでした。
金と利権と面子にまみれたこの度の大会には、大いなる違和感を持って感じてなりません。実は、コロナがオリンピックを見る視点を変える役割を果たしているようにも見えます。今回のコロナによる事態は「何気ない日常の生活がこんなに素晴らしいものだった」ことを骨身に染みる出来事でした。
また私個人にとってもがん患者になって、健康という日常生活のごく普通なものがいかに大切であったか、しみじみ感じさせられる年です。
　長くなりましたので、それでは最後に一言、自戒を込めて言わせていただきます。がんは、現在２人に１人が罹るものと言われております。生死をかける病気でもあります。
しかし生き残っても、実はその後に辛い抗がん剤治療が待っております。食べることができず、食べると頭痛と吐き気、舌の感覚が麻痺して、体が重くて動きません。そして皮膚の炎症、発熱、その他に諸々のものが出て苦しみます。
私はがんを本当にバカにしていたというか、自分だけは罹らないだろうと思っておりました。そして検査でも、肺がん・胃がん・大腸がん、全部が引っかかっていました。それでもロータリーの会長ということもありまして、ずっと無視をして、身から出たサビですけれども、ろくな治療もしないでいました。でも、血便は出るは体調はおかしくなるはで、病院へ行ったらこんな状態です。一歩間違っていたらほとんど五明君と同じ状態になっていて、こうやって生かして、いま皆さんの前でお話をさせていただいていることを本当に幸せだと思っております。

皆さんには、ぜひ私のようにならないように早めに検査・検診をお勧めします。心よりです。
　それでは、これで最終例会の挨拶とさせていただきます。
皆さま、１年間、拙い会長を支えていただき本当にありがとうございました。

司会
　ここで、会長バッジ交換を行いたいと思います。舟木会長、杉村会長エレクト、ご登壇ください。

（舟木会長より杉村会長エレクトへ会長バッジ交換）
（拍手）



司会
　ここで、杉村会長エレクトより一言ご挨拶をいただきたいと思います。

杉村　荘平会長エレクト

　ただいま歴史と伝統のある、そして舟木会長の思いの詰まった『会長バッジ』を引き継がせていただきました。身の引き締まる思いでございますが、次年度浅川副会長・市橋幹事･理事役員の皆さんとともに「ロータリーを楽しむ」という気合いで頑張って行

きたいと思います。
　また、舟木会長におかれましては、本日は本当にご出席ありがとうございました。まさに万感の思いで本日を迎えたのだと思っております。また土橋副会長、荒井幹事、横田・池田両副幹事におかれましては、会長不在の間、本当に苦労をしながらクラブ運営をされていたことを目の当たりにしております。クラブを代表しまして感謝とお礼を申し上げたいと思います。
　皆さまが言われたように、コロナはもうしばらく影響が続きそうですが、そう遠くないうちには、皆さんと楽しく語り合える「夜例会」が再開できると信じまして、全員一致で前を向いてスタートをして行きたいと思っております。
改めまして、次年度へのご支援とご協力をお願い申し上げまして挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

司会
　杉村会長エレクト、ありがとうございました。では最後に今年度を締めるご挨拶を、舟木会長の指名会長である脇パスト会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

脇　　弘幸パスト会長

皆さん、こんにちは。お久しぶりでございます。今年度、舟木年度の最終例会ということで、指名会長として一言ご挨拶を申し上げます。
皆さんの家庭や会社でも、いろいろな形で影響を受けたこの新型コロナウイルスの感染症ですが、このロータリー活動についてもやはり同じように大きな影響を受けた１年でございました。
今年度の上期については、何とか感染対策を取りながら三役・理事の皆さんの努力によって例会の開催をしてきたところですが、下期に入るころには状況が厳しくなり「例会を休会」となってしまったわけでございます。
なかなか思うような活動ができずに厳しい状態が続きました。会員同士の交流もできない時間が続いたわけですけれども、この世の中が大きな影響と打撃を受けている中で、幸いにしてこの釧路ロータリークラブのメンバーの中からは、この健康被害を受けた方がいなかったということで、良かったと思います。これは、やはり舟木会長・土橋副会長・荒井幹事をはじめ、理事の皆さんがしっかりクラブのことを考えて運営をしていただいた結果だと思うところでございます。決断をするには、本当に厳しい状態だったと思いますけれども、ご苦労様でした。そしてこの１年間の厳しい中ではありましたが、何とか今日、最終例会に漕ぎ着けたということで本当にご苦労様です。
　来週から次年度がスタートしますけれども、もう少しコロナとともに運営をして行かなければならないと思います。それでも、釧路でもワクチン接種が始まっています。１日も早く日常を取り戻して、また楽しいロータリー活動ができることを願うところでございます。
杉村エレクト、頑張って行きましょう。そして舟木会

長におかれましては、しっかりと治療をしていただいて、早く元気を取り戻していただけることを願うばかりでございます。パスト会長になりましてもまだまだ役割はたくさんございますので、また一緒に頑張って行くことができればと思います。よろしくお願いいたします。
本当に厳しい１年ではございましたけれども、舟木会長をはじめ、今年度の理事の皆さま、本当に１年間ご苦労様でした。また、ありがとうございました。
それでは最後、締めたいと思います。皆さまご起立をお願いいたします。
最後は、キレ良く『一発』で行きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
それでは、舟木会長をはじめ今年度の理事の皆さまへの感謝と、次年度杉村年度への期待、それからコロナの終息と皆さまの健康を願いまして、一発でいきますのでよろしくお願いいたします。

司会
　皆さま、ご着席ください。
これをもちまして、今年度最後の例会を終了いたします。舟木会長、点鐘をお願いいたします。

本日のニコニコ献金

■舟木　　博君　皆様、一年間大変お世話になりました。
■土橋　賢一君　一年間、ありがとうございました。
■荒井　　剛君　一年間、ありがとうございました。息子が少年野球チームで８月に行われる全道少年野球大会に出場することになりました。
■横田　英喜君　一年間、ありがとうございました。
■池田いずみ君　一年間、ありがとうございました。
■木下　正明君、樋口　貴広君　吉田潤司ガバナー年度、全ての業務が完了しました。ありがとうございました。
■小野寺　俊君　先日、会社で紺綬褒章を頂きました。

今年度累計　　528,000 円